

長久手市行政評価票

事業番号	63	事業の名称	文化事業業務	担当部署	部	課
					くらし文化部	文化の家

事業の概要	住民が芸術文化を気軽に鑑賞及び体験できる機会を提供するため、年間を通して、音楽・演劇・伝統芸能などあらゆるジャンルの舞台公演や企画展、講座(アートスクール)、映像鑑賞会の開催。また、文化の家に来館することが困難な幼児、高齢者、病患者など養老施設・病院・児童館への出張コンサートなどを実施する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣ほとんどの市町が各種さまざまな事業公演等を実施している。先進地は多様な発信事業を行い、自治体の知名度を高め、観光などに結びつけている。						
	事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度		—	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民				一般財源	55,733		51,021	50,710	47,365	46,744	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	文化芸術活動が活発に行われる環境を醸成することで、地域住民が主体的に、且つ文化・芸術に触れる機会を多様化し、文化活動のレベルを上げる。しいては、活動そのものが日々の暮らしに溶け込み心の栄養として福祉の増進に繋げていく。				国費・県費	36,026		28,857	34,252	26,670	30,286	
					地方債							
その他	19,707	22,164	16,458	20,144	16,458							
受益者負担額	15,260	20,784	16,458	18,144	16,458							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H24実績 H25実績 H25目標値	H24予算 H25予算 H26予算	H24決算 H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~												
① ホール公演事業	市内外の住民に	年間を通して、音楽・演劇・伝統芸能などあらゆるジャンルの公演を開催することで				公演48事業開催	各事業の定員充足率	81	72	76.99	%	過去3年の平均定員充足率	48,929	44,054	31,219	B	公演事業については、文化マスタープランに沿った事業展開をしていきます。
② 企画展示事業	市内外の住民に	年間を通して、さまざまな企画・展示会を開催することで				9事業開催 延参加者数 18,548人	各事業の延参加者数	20,565	18,548	17,563	人	過去3年の事業平均延参加者数	2,000	2,114	2,483	A	企画展示事業については、アートフェスティバルなど実行委員会と連携しながら事業展開をしていきます。
③ アートスクール(講座)事業	市内外の住民に	年間を通して、短期講座から長期講座まであらゆるジャンルを開催することで				長期講座17回、短期講座35回開催	各事業(講座)の定員充足率	95	90	95.81	%	過去3年の平均定員充足率	3,304	2,200	2,371	A	講座内容は、毎年検討を行い、事業展開をしていきます。
④ アウトリーチ事業	市内外の住民に	年間を通して、いろいろな場に出向き催し物を開催することで				ガレリアコンサート・アートデリバリー等44回開催	各事業の延参加者数	4,572	3,833	4,915	人	過去3年の事業平均延参加者数	1,000	1,634	1,309	B	ガレリアコンサート・アートデリバリーなど事業内容を検討しながら、行っていきます。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① ホール事業	PR方法の改善(ホームページ、客リストの精査など)し、広報部門を拡充する。			
② アウトリーチ事業	学校関係は、参加校増加を推進し、アウトリーチでは福祉分野への充実を図る。				

長久手市行政評価票

事業番号	63	事業の名称	文化事業業務	担当部署	部	課
					くらし文化部	文化の家

事業の概要	住民が芸術文化を気軽に鑑賞及び体験できる機会を提供するため、年間を通して、音楽・演劇・伝統芸能などあらゆるジャンルの舞台公演や企画展、講座(アートスクール)、映像鑑賞会の開催。また、文化の家に来館することが困難な幼児、高齢者、病患者など養老施設・病院・児童館への出張コンサートなどを実施する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣ほとんどの市町が各種さまざまな事業公演等を実施している。先進地は多様な発信事業を行い、自治体の知名度を高め、観光などに結びつけている。																		
	事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度		—	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民				総事業費	一般財源	36,026	28,857	34,252	26,670	30,286													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	文化芸術活動が活発に行われる環境を醸成することで、地域住民が主体的に、且つ文化・芸術に触れる機会を多様化し、文化活動のレベルを上げる。しいては、活動そのものが日々の暮らしに溶け込み心の栄養として福祉の増進に繋げていく。					うち	国費・県費				551													
							地方債																	
							その他	19,707	22,164	16,458	20,144	16,458												
						受益者負担額	15,260	20,784	16,458	18,144	16,458													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価								
		4月~	7月~	10月~	1月~				H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明				
									H25目標値			H26予算											
⑤	映像鑑賞会事業	市内外の住民に	年間を通して光のホール等で映像の上映を開催することで				市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動を誘発し、市民文化及び地域文化を活性化するための基礎作りとした。	映像鑑賞会 12回開催	各事業の定員充足率	55	62	%	過去3年の平均定員充足率	500	170	758	495	600	<table border="1"> <tr><td>A</td></tr> <tr><td>維持</td></tr> <tr><td>維持</td></tr> </table>	A	維持	維持	現行どおり実施していく。住民企画の要素を取り入れていく。
A																							
維持																							
維持																							
⑥																							
⑦																							
⑧																							

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	